



令和3年1月15日
第841号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
振替 00160-6-25389
編集 発行人 盛川英治
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

令和3年度政府予算

本会要望事項概ね達成される

政府は十二月二十一日午前の閣議で、令和三年度政府予算案を決定した。本会関係では、感染予防に配慮した全国戦没者追悼式挙行経費の増額や、公務扶助料、遺族年金等の据え置きをはじめ、遺骨収集事業に係る経費、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の実施等その他の処遇改善項目に係る予算も概ね要求通り計上された。

各府庁が必要な政策を行う予算をまとめた令和三年度予算案を政府は二十一日、閣議決定した。

一般会計の総額は令和二年度当初予算比3.8%増の百六兆六千九百七十七億円で、九年連続で過去最大を更新した。

コロナ禍で落ち込む景気の底上げを図る一方、税収が減り、借金にあたる新規国債の発行額は約三割増の十一年ぶりに増加する。財政運営は一層厳しさを増す。

このような極めて厳しい財政状況下のなか十一月下旬から本会は、各支部に対してコロナウイルス感染症対策に万全を期して、自由民主党所属地元選出国會議員本人等に対し「戦没者遺族の処遇改善に関するお願い書」を手交し、本会の要望事項実現に対する理解と協

新年のごあいさつ



日本遺族会会長
参議院議員
水落敏栄

「遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。昨年は世界中に蔓延した新型コロナウイルスに翻弄された一年となりました。

政府は未知のウイルスに対し、医療体制の強化整備を手始めに、全国の小中高等学校等の一斉休校をはじめ、緊急事態宣言発令等、大胆な取組みを実施しました。マスク、手洗い、うが

力を求める運動を展開した。そして、全国の戦没者遺族が一九九一年となった陳情運動を実施した結果、本会の要望事項は概ね実現した。

令和三年度政府予算における戦没者遺族等への追悼式挙行経費が本年度予算に比べ二千二百万円

増額の一億九千五百万円が計上された。遺骨の鑑定実施体制の充実を図るために遺骨鑑定施設設立の準備費が新たに認められた。戦没者遺留品の返還に伴う調査一式費用として千四百五十万円、遺児による慰霊友好親善事業は、令和二年度と同様に十七地域・九百人を確保した。また、昭和三館の運営に係る経費など概ね本会の要望通り計上された。

扶助料・遺族年金等の据え置きをはじめ、感染防止に配慮した全国戦没者追悼式挙行経費が本年度予算に比べ二千二百万円増額の

は、多方面に大きな変化をもたらしつつあります。リモートによる在宅ワークや時短勤務などの働き方改革は、東京から地方への移住や、家族との時間を増やすライフ・ワークバランスの見直しを促しています。

遺族会においても、会議等は中止や書面開催となり、海外での慰霊参拝、遺骨の収集も実施出来ず、悲壮感が漂っています。そうした中で、本会として出来ることは何か検討を重ね、インターネット上に事務局のフェイスブックを開設し、本会をもとより、支部の活動を広く紹介すること

しました。「平和への思いを繋げる」との意図は確実に浸透し、感染症予防を徹底しながら慰霊碑清掃や追悼式、研修会などに取り組む支部の様子が発信されると、活動に刺激を受けた支部から、続々と活動報告が寄せられ、孫世代の力を借りてウェブ上に発信されるようになってきました。

こうした中で、終戦から七十五年となる八月十五日には、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国戦没者追悼式が挙行されました。感染者数の増加から、両陛下の行幸啓のきまみ中止となり、開催さえ危ぶまれる状況下

で臨席頂いたことに、戦没者とその遺族に対する両陛下の温かい御心に触れ、深く感佩いたしました。

人類は困難に直面する度、英知を結集し、乗り越えてきました。天皇陛下のお言葉のとおり、今こそ皆で手を携え乗り越える時なのです。そしてかけがえない命を無意味な戦禍で失わないために、私たちは粘り強く恒久平和な社会を目指して、活動を重ねて参ります。結びに、ご遺族皆様のご健康と新型コロナウイルスの早期終息を心から祈念しご挨拶いたします。(M)

皇居で新年祝賀の儀

天皇陛下は、一日、皇居・宮殿で皇后陛下とともに皇族方や三権の長などから新年のお祝いを受ける国事行為「新年祝賀の儀」に臨まれた。儀式は新型コロナウイルス感染症の影響で出席者の増額が一億九千五百万円が計上された。



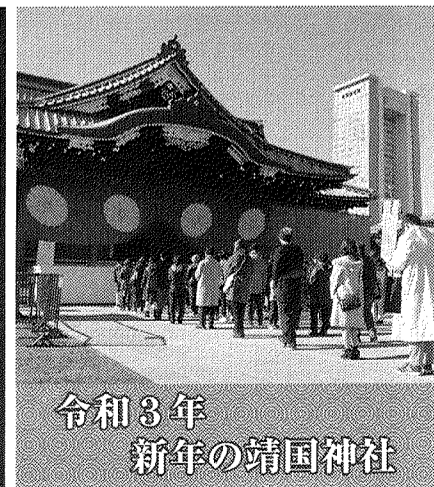
規模を縮小して開催された。陛下は「新しい年をともに祝うことを誠にうれしく思います。年頭にあらたに国民の幸せと国の発展を祈ります」など述べられた。

昨年、国内で新型コロナウイルスに蹂躞され、対応に苦慮した一年でした。特に、12月31日には東京都で1337人という、一日の感染者数が過去最高となりました。そして、未知の病との戦いは今でも続いています。天皇陛下は元旦、ビデオを通し、お言葉を述べられました。

新型コロナウイルス感染症拡大の中、国民を案じ、「これまで幾度も恐ろしい疫病や大きな自然災害に見舞われてきました。しかし、その度に、団結力と忍耐をもってそれらの試練を乗り越えてきたものと思います。今、難局にあつて、人々が将来への確固たる希望を胸に、安心して暮らせる日が必ずや遠くない将来に来ることを信じ、皆が互いに思いやりを持って助け合い、支え合いながら、進んでいくことを心から願っています」とお気持ちを述べられた。国民と苦楽をともに歩もうとする御心に触れた6分45秒間のお言葉でした。戦後75年が過ぎ、戦争を知らない世代が社会の大半を占める様になりました。戦争の記憶が風化する一方、世界では紛争が絶えず、悲劇は繰り返されています。二度と我々のような戦没者遺族を出さないために、今後も歩みを止めることなく、粘り強く恒久平和な社会を目指す活動を重ねて行かなければなりません。(M)

声なき声

昨年、国内で新型コロナウイルスに蹂躞され、対応に苦慮した一年でした。



令和3年 新年の靖国神社

謹賀新年

一般財団法人
日本遺族会
会長 水落敏栄
副会長 宇田川 劔雄
同 市来 健之助
専務理事 畔上 和男
他役員一同

洗心懇談会 (順不同)

東郷会
大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会
特攻隊戦没者慰霊顕彰会
三笠保存会
中央乃木会
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
隊友連盟会
日本郷友連盟会
水交社
借国神社
靖国神社
英霊にこたえる会
日本遺族会

フオローアツプ調査 硫黄島の壕内調査を実施

日本戦没者遺骨収集推進協会(ＪＡＲＲＷＣ)主催による硫黄島戦没者遺骨収集派遣フオローアツプ調査は、六月から十数回実施されており、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により日本遺族会をはじめ社員団体からの派遣参加は見送られていたが、第十二回派遣で十一月十六日から十一月二十一日の期間で本会から一人が参加協力した。

フオローアツプ調査の概要

フオローアツプ調査の第十二回派遣で初めて、本会から一人が参加協力した。派遣者はPCR検査を受け陰性の結果を得て渡島し、十一月十六日から十一月二十一日の期間で硫黄島東側の道標「陸軍混成第二旅団独立連射砲第十一大隊壕群」等で調査を実施した。

令和3年度政府予算における戦没者遺族処遇改善項目

- 一、遺族年金等(別表)
- 二、戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給
10億8300万円
- 支給事務経費の増(支給対象件数約85万6百人)
- 三、遺骨収集事業等の推進
27億6400万円
- (1)遺骨収集事業
21億5100万円
- 【実施地域】
- ・現地調査及び埋葬地調査(12地域) フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、ミヤンマー、インド、トラック諸島、マニラ諸島、インドネシア、インドネシア、パラオ諸島、その他南方地域、旧ソ連地域
- ・遺骨収集(16地域) フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、インドネシア、パラオ諸島、マリアナ諸島、トラック諸島
- ・現地調査及び埋葬地調査(12地域) フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、トラック諸島



壕内に進み調査を実施する団員ら＝11月19日、硫黄島で

ア これまでの面的調査で確認された「発見地下壕基礎台帳」を基に、他に未発見の地下壕等の存在が疑われる場所がないか現地掘削業者とともに区域内を踏査する。

性や収容の可否を判断のうえ、その調査状況を取りまとめる。

等障害物の除去
イ 地下壕の存在が疑わしい箇所周囲の掘削・スキトリ
ウ 崩落部の天井を除去するなど作業現場の安全確保

本紙(同面)でもお願いしているミャンマー小学校修繕募金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。

ミャンマー小学校修繕募金のお礼

ミャンマー(旧ビルマ)小学校修繕募金のお祝い

日本遺族会では、ミャンマー(旧ビルマ)に建設贈呈した小学校の修繕費用について寄附金を募っております。

種類	令和3年4月より(月額)	対象遺族
公務扶助料	1,966,800(163,900)	軍人(少佐まで同額)
特例扶助料	1,573,500(131,125)	軍人(少将まで同額)
扶養加給	72,000	軍人
先順位遺族年金	1,966,800(163,900)	軍属、一部軍人
同 遺族給与金	1,966,800(163,900)	準軍属
同 特例遺族年金	1,573,500(131,120)	軍属・一部軍人
同 特例遺族給与金	1,573,500(131,120)	準軍属
後順位遺族年金	72,000	軍属、一部軍人
同 特例遺族給与金	56,400	準軍属
他者に公扶受給年金	193,200	軍人
特設年金	456,400	軍人、軍属、準軍属
特例特設年金	335,000	同上
対馬丸特別支出金	1件・年額 1,376,760	遭難学童

(注) 上記の年額表は、日本遺族会事務局による試算で、多少異動することもあるので、ご了承下さい。



アキャブのバンドウターズ小学校

集 遺骨収集を考える

第二回遺骨収集推進法のなりたち

平成二十八年四月一日に戦没者の遺骨収集の推進に関する法律(以下遺骨収集推進法)が施行され、戦後八十年となる令和七年までの集中期間が四年に迫る中、改めて遺骨収集推進法の施行までを振り返り、その意義と今後の方向性について考える。遺骨収集推進法を取りまとめた水落敏彦参議院議員(本会会長)にインタビューし、第一回は遺骨収集推進法のなりたちから施行までを紹介する。

私に課せられた職責であり、中でも戦没者の遺骨収集は日本遺族会事務局時代から四十年余り携わっていた事業であり、格別の思い入れがありました。

海外で亡くなられた戦没者およそ二百四十万人のうち、戦後六十七年が経過していた平成二十五年当時、およそ半数の遺骨しか祖国にお迎えできていないことに大きな焦りを感じ、あらゆる会議等で遺骨収集の推進を訴えていました。

そして戦後七十五年までに遺骨収集に目途をつけたいとの考えに至り、当時の自民党高市早苗政調会長に相談し、戦没者遺骨帰還に関する特命委員会(以下、特命委員会)を党内に設置していただきました。

問一 遺骨収集推進法を作ろうと思ったきっかけを教えてください。

答一 まず、私は全国の戦没者遺族の代表として国会に送っていたさまざまのため、英霊の顕彰と遺族皆様の処遇改善が

見を集約、平成二十六年二月に行動計画骨子を作成し、その後役員会等で協議を重ね、平成二十六年十月法律案を編み上げ、指

定法人についての審議、法制化に向けて大詰めの一歩を踏み出しました。実際に一年半余りに及ぶ慎重な審議を重ねました。

問二 遺骨収集推進法で最もこだわったことを教えてください。

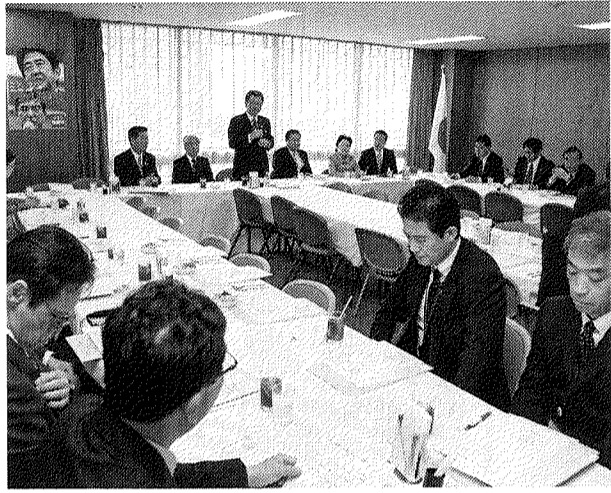
答二 ①遺骨収集を「国の責務」とした事②厚生労働省に加え、外務省、防衛

省に協力義務を課した事③集中期間を設けた事④遺骨収集を専門に行う指

定法人を設置した事です。遺骨収集は昭和二十七年に始まり、政

府職員の手で細々と行われていました。遅々として進まない状況に業を煮やした本会は昭和四十六、四十七年に自費で遺骨の現地調査を行い、早

期に遺骨収集の促進を要望したことで、厚労省より協力を求められ、以来本会は現在まで遺骨収集事業を推進してまいりました。



戦没者遺骨帰還に関する特命委員会の委員長に就任し、挨拶する水落会長=自民党本部で

今後の遺族会を考える

特別委員会報告書

(最終回 掲載)

前号より続く

本紙一月号では、最後の事項(5)昭和館の運営について紹介する。

昭和館の運営では、開館二十年目を迎え、今後の取り組み等について審議した。

第五章 昭和館の運営

1. 昭和館

労働省から委託を受け平成十一年三月に開館した。平成三十一年三月に開館二十年目を迎え、入館者数についても令和元年六月に六百万人を超え順調に推移している。

(1)昭和館は、戦没者遺児に対する慰籍の一環として建設され、戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代の人々に伝える施設として、日本遺族会が、厚生

労働省から委託を受け平成十一年三月に開館した。平成三十一年三月に開館二十年目を迎え、入館者数についても令和元年六月に六百万人を超え順調に推移している。

(2)昭和館の運営にあたっては、次のような充実が

図られるよう関係機関に働きかける。

①多くの人のためにより努力により平和な社会が築かれた事実を伝え、戦争の風化を防ぎ、平和の尊厳を語り継ぐ昭和館が果たすべき使命に思いをはせ、今後一層、次世代に戦中・戦後の労苦を継承して行くため、小中学生をはじめとする若い世代の入館者の一層の増加を図る。

旧九段会館建替え

令和四年七月竣工

東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が出資する合同会社ノヴェグランドは、昭和九年に皇居内濠に面して建てられた歴史的建造物である旧九段会館を、一部保存・復元しながら建て替える(仮称)九段南一丁目プロジェクト工事を平成三十年四月に着手した。

現在は新築建物の地上部分の鉄骨組み上げ工事が十二月から始まり、令和四年七月竣工に向けて計画通り進められている。

建物の概要は、敷地面積約八千七百六十五㎡、建物地上十七階(高さ七十五m)、地下三階、延床面積約六万八千㎡、駐車場百二十九台、建物用途は貸オフィス、宴会会場、シェアオフィス、飲食店舗が計画され、さらにお濠沿いには遊歩道が設けられるなど、土地、建物の高度利用が図られる。

東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が出資する合同会社ノヴェグランドは、昭和九年に皇居内濠に面して建てられた歴史的建造物である旧九段会館を、一部保存・復元しながら建て替える(仮称)九段南一丁目プロジェクト工事を平成三十年四月に着手した。

現在は新築建物の地上部分の鉄骨組み上げ工事が十二月から始まり、令和四年七月竣工に向けて計画通り進められている。

建物の概要は、敷地面積約八千七百六十五㎡、建物地上十七階(高さ七十五m)、地下三階、延床面積約六万八千㎡、駐車場百二十九台、建物用途は貸オフィス、宴会会場、シェアオフィス、飲食店舗が計画され、さらにお濠沿いには遊歩道が設けられるなど、土地、建物の高度利用が図られる。

東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が出資する合同会社ノヴェグランドは、昭和九年に皇居内濠に面して建てられた歴史的建造物である旧九段会館を、一部保存・復元しながら建て替える(仮称)九段南一丁目プロジェクト工事を平成三十年四月に着手した。

現在は新築建物の地上部分の鉄骨組み上げ工事が十二月から始まり、令和四年七月竣工に向けて計画通り進められている。

建物の概要は、敷地面積約八千七百六十五㎡、建物地上十七階(高さ七十五m)、地下三階、延床面積約六万八千㎡、駐車場百二十九台、建物用途は貸オフィス、宴会会場、シェアオフィス、飲食店舗が計画され、さらにお濠沿いには遊歩道が設けられるなど、土地、建物の高度利用が図られる。

東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が出資する合同会社ノヴェグランドは、昭和九年に皇居内濠に面して建てられた歴史的建造物である旧九段会館を、一部保存・復元しながら建て替える(仮称)九段南一丁目プロジェクト工事を平成三十年四月に着手した。

現在は新築建物の地上部分の鉄骨組み上げ工事が十二月から始まり、令和四年七月竣工に向けて計画通り進められている。

日も早く、一柱でも多くご遺骨を祖国にお迎えしたいと考え、それまで厚労省の一所掌業務であった遺骨収集を「国の責務」と位置づけ、外務省、防衛省に協力義務を課をしたことで、現地政府との交渉や遺骨収集場所の掘削等を円滑に行えるようになりました。そして集中期間を設け、遺骨収集

に特化した指定法人を設立し、全力で遺骨収集に当たると体制を整えました。

問四 遺骨収集推進法を成立させる苦労はありましたか?

答四 当初、自民党政調会内の特命委員会で議論を深め、法制化の準備を進めましたが、議員立法として国会に提出するには、全会一致でなければ

成立しませんでした。与党はもとより野党の衆参の幹部、厚生労働関係、国対、議連などの議員に法律の意義等を丁寧に説明を重ね、各党の厚労部会、政調会、総務会等でも説明を重ねます。百人以上の議員に個別に説明し、別途三十回以上の会議で説明したと思います。

以下、次回に続く。

の戒厳司令部が置かれた鳳凰の間や清王朝最後の皇帝愛新覚羅溥儀の実弟、溥儀と嵯峨浩が結婚披露宴を行った真珠の間等々も後世に伝えるべく残される。

完成後は、本会の事務局は新築建物の四階部分の眺望の良い濠側に配置され、事務室・展示室・交流スペース等として提供される。

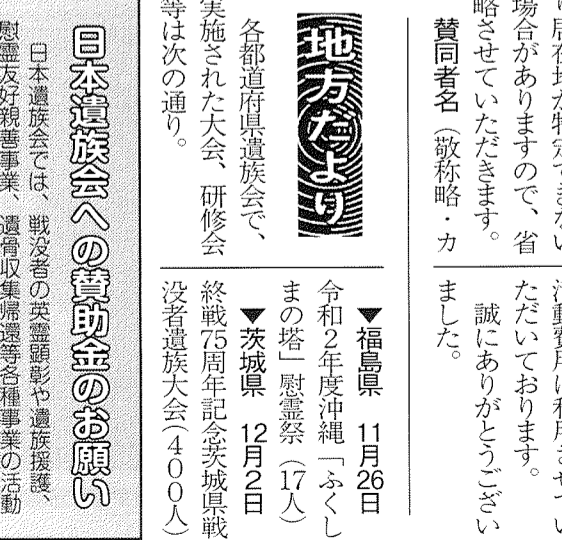
また、歴史上重要な舞台となった二・二六事件

の戒厳司令部が置かれた鳳凰の間や清王朝最後の皇帝愛新覚羅溥儀の実弟、溥儀と嵯峨浩が結婚披露宴を行った真珠の間等々も後世に伝えるべく残される。

完成後は、本会の事務局は新築建物の四階部分の眺望の良い濠側に配置され、事務室・展示室・交流スペース等として提供される。

また、歴史上重要な舞台となった二・二六事件

の戒厳司令部が置かれた鳳凰の間や清王朝最後の皇帝愛新覚羅溥儀の実弟、溥儀と嵯峨浩が結婚披露宴を行った真珠の間等々も後世に伝えるべく残される。



旧九段会館の建替工事の現況=令和2年12月25日撮影

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願

いしている本会への賛助

金につきましては、ご賛

助いただきました左記の

方々に対し、お礼申しあ

げます。

なお、大変恐縮ではご

ざいですが都道府県名に

ついては、送金方法によ

り所在地が特定できない

場合がありますので、省

略させていただきます。

▼福島県 11月26日

令和2年度沖繩「ふくし

まの塔」慰霊祭(17人)

▼茨城県 12月2日

戦終75周年記念茨城県戦

没者遺族大会(400人)

日本遺族会への賛助金のお礼

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただきますようお願い申し上げます。

●郵便振替 0013020694999 ●みずほ銀行 九段支店 普通預金 00880930

※口座名は「一般財団法人日本遺族会」です。二ホンソウカイ

遺族への返還相次ぐ

戦没者等遺留品返還事業

本会が厚生労働省から委託を受け、OBONSエティと連携し実施している「戦没者等の遺留品返還に伴う調査」事業で、日章旗等の遺留品が三県で遺族へ返還された。また、佐賀県遺族会から捜索を依頼された五十六枚の海軍兵士の肖像写真では、これまでに二十四枚について遺族が判明し、返還が完了している。

日本遺族会は、平成二十五年からOBONSエティの遺留品返還活動に協力しているが、平成三十年度に「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業が新たに予算化された。これにより、調査依頼を受けた遺留品は、これまで以上に増加している。

調査を続けており、二十四枚が関係遺族へ返還されている。写真は、昭和十八年七月に海軍の工作兵修業が終了し、一人ずつ記念写真を撮った若い水兵で、写真の裏には、自分の名前、住所、戦地へ赴く決意、指導を受けた教団長への感謝の言葉などが記されている。

三県で返還
兵庫県、長崎県、高知県で、遺留品がそれぞれ遺族に返還された。

三浦シズエさんへの返還された日章旗は、一九四二年十一月二十一日に、淡路市の伊弉諾神社で宮司立ち合いの下、谷忠義淡路市遺族会会長から、従兄弟の開慶さんへ軍事手帳が手渡された。開慶さんは、「亡き父からよく話を聞かされ、無念だったでしようが、魂は手帳と一緒に淡路島に帰ってきてくれた」と語った。

高知県では、米田三郎君が所有していた日章旗が、安芸市東浜出身の大西賢一郎さんのもと判明。また、佐賀県では、米田三郎君が所有していた日章旗が、安芸市東浜出身の大西賢一郎さんのもと判明。また、佐賀県では、米田三郎君が所有していた日章旗が、安芸市東浜出身の大西賢一郎さんのもと判明。

ついでに、三浦シズエさんへの返還された日章旗は、一九四二年十一月二十一日に、淡路市の伊弉諾神社で宮司立ち合いの下、谷忠義淡路市遺族会会長から、従兄弟の開慶さんへ軍事手帳が手渡された。開慶さんは、「亡き父からよく話を聞かされ、無念だったでしようが、魂は手帳と一緒に淡路島に帰ってきてくれた」と語った。

高知県では、米田三郎君が所有していた日章旗が、安芸市東浜出身の大西賢一郎さんのもと判明。また、佐賀県では、米田三郎君が所有していた日章旗が、安芸市東浜出身の大西賢一郎さんのもと判明。

高知県安芸市東浜村五藤忠雄さんの写真と裏に記された恩師への言葉



元日の横須賀より
海軍一等機関兵曹 黒瀬 竹夫
昭和十九年六月二十九日
マリアナ諸島サイパン島西方にて戦死
岩手県和賀郡内村出身 二十五歳

調査を続けており、二十四枚が関係遺族へ返還されている。写真は、昭和十八年七月に海軍の工作兵修業が終了し、一人ずつ記念写真を撮った若い水兵で、写真の裏には、自分の名前、住所、戦地へ赴く決意、指導を受けた教団長への感謝の言葉などが記されている。

高知県では、米田三郎君が所有していた日章旗が、安芸市東浜出身の大西賢一郎さんのもと判明。また、佐賀県では、米田三郎君が所有していた日章旗が、安芸市東浜出身の大西賢一郎さんのもと判明。

高知県安芸市東浜村五藤忠雄さんの写真と裏に記された恩師への言葉

明けてからおめでたうございます。御案内皆様には、無事正月を迎えられた事と察します。横須賀より皆様への幸あらんことを祈ります。

私も昭和十八年の新春を〇〇〇〇学校に於いて迎えました。唯元気があつたのみならず、午前九時迄行方不明で、終はつて半外出を許されました。

遺影や道徳を忍ぶ遺品などを展示し、戦争と平和を考える契機となる施設として「岡山平和祈念館」を建設した。

遺影や道徳を忍ぶ遺品などを展示し、戦争と平和を考える契機となる施設として「岡山平和祈念館」を建設した。

遺影や道徳を忍ぶ遺品などを展示し、戦争と平和を考える契機となる施設として「岡山平和祈念館」を建設した。

「お父さん」と呼ぶこともなく七十路を守られながら歩みとおられぬ戦死せし父親の顔知らぬまま八十寿を迎える

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

「お父さん」と呼ぶこともなく七十路を守られながら歩みとおられぬ戦死せし父親の顔知らぬまま八十寿を迎える

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明

長野市 齊藤 由明



戦没者の遺族から寄贈された寄せ書きの日の丸などの遺品や遺影が並ぶ館内

遺族の健安祈願
十二月二十二日、本会事務所御社奉斎が執り行われた。

御社奉斎は午前十一時、靖国神社の奉仕で執り行われ、祝詞奏上に続き玉串が奉奠された。

御社奉斎には呼上和男専務理事、事務局職員が参列し、本会事業の達成と戦没者遺族の方々等の健安を祈願した。

【開館時間】 十時〜十六時
【休館日】 月曜日（祝日または振替休日の場合開館、翌日休館）、年末年始
【入場料】 無料
【住所】 岡山県岡山市中区奥市二二二
【問合せ先】 岡山県遺族連盟事務局 ☎086-271-7175まで